

若者の地元就職を目指し

高校生と企業の意見交換会

東総工業高校の生徒とみどり平工業団地内で操業する企業との意見交換会が1月25日、工業団地内で開かれました。

この取り組みは、若者の地元就職につなげることを目的として県海匠地域振興事務所が主催したもので、昨年度に続き2回目の開催。今回は、女子生徒1人を含む2年生7人が参加し、製造工場内部の見学を行った後、会場を移して企業の担当者らと顔を合わせました。

意見交換会では、企業からは“就職先の選択の際に優先すること”などが、生徒からは“企業の働き方に関する取り組み”などが質問として出され、雇用する側と企業を選ぶ側それぞれの立場から率直な意見が交わされました。

企業担当者
と意見
を交わす
高校生



全国大会へ出場決める

小学生軟庭 熱田さん、富永さん組

ペアを組んだ熱田さん(右)と富永さん



白子町で11月に開かれた全国小学生ソフトテニス大会県予選会のダブルス4年生以下の部に、野田小4年・熱田瑞季さんと八日市場小3年・富永紗妃さんのペア(ともにふれあいクラブジュニア所属)が出場し、ベスト4に入賞しました。これにより2人は、同町で3月29～31日に開催される全国大会への出場が決まりました。

2人は初の全国大会に向けて、「練習の成果を発揮できるよう頑張ります」と口をそろえて決意を語りました。

蕪里のハリストス須賀正教会に収蔵されているイコン(聖画)全10面の修復作業が完了し、取り外されていた最後の4面が元の位置に取り付けられました。

今回の作業はイコンが明治期に描かれて以来、初めて行われたもので、平成22年から2期に分けて、東京藝術大学により進められてきたものです。画表面のニスを剥がし、洗浄後に塗り直すという作業を経て100年前の色彩が蘇ったイコンを見た教会関係者は「こんなに色鮮やかだったんですね」と感嘆の声を漏らしていました。

作品は日本人初のイコン制作者・山下りんによるもので、県の指定文化財。3～5月、8・9月を除く毎月第3土曜日に一般拝観が行われています。

鮮やかな色彩がよみがえったハリストス須賀正教会のイコン



100年経てよみがえった色彩
イコンの修復が完了



男性たちが、およそ2時間かけて長さ約3mにもなる大蛇を3匹結び上げた後、それぞれの大蛇におみ神酒を飲ませて入魂しました(=写真)。

2月8日 時曾根の大蛇まつり

豊和地区飯塚の松峰神社で、御奉射が行われました。五穀豊穡を願う儀式が終わると、縁起が良いとされる「鶴」と「亀」をかたどった大きなしんこ餅が、1年ごとに交代となる新旧の当番区の間でそれぞれ交換されました(=写真)。



2月7日 松峰神社の御奉射

地域の伝統行事

各地で行われた伝統行事を紹介します。

善行者を表彰



市では山崎昭さん(八日市場イ)を2月15日に善行者として表彰しました(=写真)。これは同氏が国保匝瑳市民病院へ100万円の寄付を行ったことに対し

て、その功績を表彰したものです。

表彰状を受け取った山崎さんは、「妻が長い間、病院にお世話になったので何かの役に立てればと思い寄付をしました」と話していました。

元気に「福は内」各地で節分行事

市内各所の神社仏閣で2月3日、「節分」の行事が行われました。



中央地区の八重垣神社で行われた節分会追儺式では、今年の年男・年女に当たる八日市場小学校5年生の児童47人が集まり、豆まきに参加しました。児童たちは、宮司から節分の意味などの説明を受けた後、「福は内」の掛け声に合わせて、境内に集まった多くの人に向け豆やお菓子をまいていました(=写真)。

関東地方で4年ぶり大雪

関東地方が4年ぶりの大雪に見舞われた1月22日、本市の広い範囲でも降雪が見られました。

22日の日没過ぎから舞い始めた雪は、翌日未明まで降り続けました。一夜にして銀世界に変わったそうさ記念公園では、ソリ遊びなどで楽しむ親子の姿が見られました(=写真)。



荒行達成を報告

長福寺で冬の水行

水行で身を清める荒行僧



大寺の日蓮宗長福寺で2月16日、荒行を達成した僧たちによる報告式が行われました。

これは、同寺の佐藤哲祥副住職が、中山法華経寺で「寒百日大荒行」と呼ばれる100日間に及ぶ厳しい修行を成し遂げたことを、檀信徒らに報告するために開かれたものです。

報告式に先立ち、修行を行った副住職ら僧5人による「水行」が、檀信徒や家族、近隣の僧侶が見守る中で行われました。ひげをたくわえ精悍な顔付きをした僧たちは、吐く息が白くなる中、荒行でかすれた声で経を唱えると、くみ置かれた冷水を手桶ですくい、頭から何度もかぶり心身を清めました。

表彰を受けた大木さん



「千葉県内の卓越した技術者(千葉県の名工)」として、大木等さん(野手)が表彰を受けました。

これは、技能者の地位向上や技能水準を高めることを目的として優れた技能労働者を知事が表彰する制度で、住宅をはじめ寺社仏閣に施す銅板彫刻など、55年にわたり建築板金業務に携わってきた大木さんの熟練の技術が評価されたものです。

大木さんは、厚生労働省が取り組む「ものづくりマイスター」として県内小学校への出前授業も行っており、「子どもたちに技術を教え、つないでいくことが重要です」と話していました。

千葉県の名工に大木さん
板金技術で知事表彰

江戸時代から続くとされる女性だけの祭り「如意輪参り」が、豊栄地区亀崎で行われました。男性たちが太鼓や笛で囃し立てると、着飾った女性たちが大きな方燈を持って子安神社に踊りを奉納しました。(=写真)。



2月18日 亀崎の如意輪参り



豊栄地区飯倉で、「おしし」と呼ばれ親しまれている獅子舞が行われました。男性たちが子安神社で一年の無事を祈願した後、獅子の装束をまとめて各家庭やグループホームを訪問し、魔除け・厄除けを行いました(=写真)。

2月8日 飯倉新田の獅子舞

野田地区新堀の稲荷神社で、市の無形民俗文化財に指定されている東郷神楽が演じられました。保存会の人たちは装束姿で地区内を練り歩いた後、神楽殿で「猿田彦」や「出雲」などを披露し(=写真)、五穀豊穡を祈願。終了後は、見物人に菓子や餅が振る舞われました。



2月11日 稲荷神社の東郷神楽